

平成25年(2013年)11月27日(水曜日)

責任

戸口

系行

局早

富士山保全へ「国管理」

県議会特別委 大学教授らが意見

富士山 つなぐ世界遺産

県議会富士山保全・

活用特別委員会は26

日、富士山の世界遺産

としての情報発信や保

全管理に関して有識者

の意見聴取を行った。

NPOブランドワーク

三島専務理事の渡辺豊

博都留文科大教授ら3

人が意見を述べた。

「富士山学」などの

講義を行う渡辺教授

は、世界遺産登録の意

義として「認められた

のは信仰や芸術といっ

た過去の価値。最大の

テーマである開発抑止

の議論が行われていな
交通アクセスを含めた
い」と指摘した。包括
情報発信の強化などを
求めた。

ため、富士山庁を設置
して国が一元管理する
べきと訴えた。

ユネスコ世界遺産委

員会の決議文に照らし

合わせた課題も列挙

し、山小屋の実態調査

など大部分が未実施と

指摘した。

観光分野では県観光

協会の太田忠四郎専務

理事、同協会が採用す

るしずおかツーリズム

コーディネーターの今

井利昭チーフが意見を

述べた。今井チーフは

「登山者向けのルール

周知が不十分」として